


令和6年度指定管理者運営状況検証シート

1 施設名等

令和7年3月31日現在

施設名 (設置年月日)	南予レクリエーション都市公園 (昭和51年4月1日)	所在地 電 話 H P	愛媛県宇和島市津島町近家甲1813 0895-32-3344 https://www.nanreku.jp/			
県所管課	土木部道路都市局都市整備課	指定管理者の名称	南レク 株式会社			
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)	利用料金制	○	あり		なし

2 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	南予地方の美しい自然と豊かな人情にあふれた風土を背景に、緑と海をテーマに「見る、楽しむ、憩う、学ぶ、鍛える」を盛り込んだレクリエーション施設を整備し、自然環境と調和のとれた地域の発展を目指すもの。	<div>施設の外観</div> 
施設内容	○第1号公園…日本庭園南楽園・ローラースケート場・イベント広場・オートキャンプ場等 ○第3号公園…野球場・テニスコート・多目的広場・屋内運動場・球技広場・キャンプ場 宇和海展望タワー・紫電改展示館・こども動物園・香木園 ○第4号公園…ゴーカート場・テニスコート・パドアイランド ○第5号公園…御荘プール等 ○第6号公園…キャンプ広場等 ○第7号公園…ジャンボスライダー、スロープカー等	
指定管理者が行う業務	①運営に関する業務 ②県立都市公園条例第6条の規定による公園の利用の禁止又は制限に関する業務 ③利用の許可に関する業務 ④利用に係る料金の収受に関する業務 ⑤利用者への便宜の供与に関する業務 ⑥利用の促進に関する業務 ⑦施設、附属施設及び備品の維持管理に関する業務 ⑧その他知事が定める業務	
施設の管理体制	<div><div>代表取締役社長 常務取締役</div><div><div>【総務部】 部長 次長 部長兼務 課長 係 係 係</div><div>【公園管理部】 部長 次長 課長 次長兼務 係 係 係 臨時5</div><div>【南楽園担当】 係 係 係</div><div>【津島プレーランド担当】 係長 次長兼務 係</div><div>【企業営業部】 部長(再) 次長 課長 係長 係4 臨時5</div><div>【営業課】 課長 係長 係1 臨時11</div><div>【運営課】 課長 次長兼務 課長兼務 係長 係2 臨時3</div><div>【公園管理課】 公園管理課長 係長 係2 臨時3</div><div>【南予和南管理事務所】 所長 次長</div></div></div>	

3 検証のための指標の推移

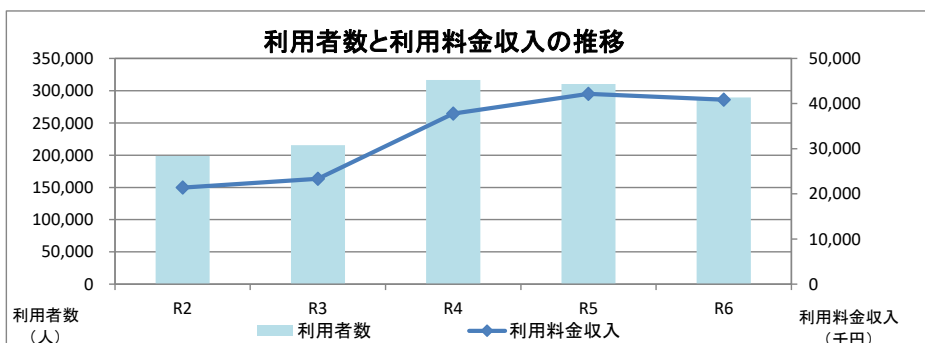
(1) 利用者数

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年間利用者数	198,920 人	215,424 人	316,766 人	310,358 人	289,647 人

(2) 収支状況

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収 入 (A)	385,568 千円	390,476 千円	398,649 千円	408,942 千円	434,816 千円
委 託 料	353,676 千円	353,572 千円	354,232 千円	366,305 千円	393,252 千円
委託料(補正額)※	10,443 千円	12,909 千円	5,980 千円	0 千円	0 千円
利用料金収入	21,381 千円	23,317 千円	37,761 千円	42,153 千円	40,882 千円
その他収入	68 千円	678 千円	676 千円	484 千円	682 千円
支 出 (B)	385,568 千円	390,476 千円	398,650 千円	408,927 千円	434,815 千円
事業費	47,750 千円	55,405 千円	60,533 千円	63,644 千円	70,850 千円
維持管理費	131,054 千円	127,062 千円	127,352 千円	137,832 千円	143,041 千円
人件費	198,255 千円	200,238 千円	202,148 千円	198,122 千円	210,579 千円
その他支出	8,509 千円	7,771 千円	8,617 千円	9,329 千円	10,345 千円
収 入 (A) - 支 出 (B)	0 千円	0 千円	▲ 1 千円	15 千円	1 千円

(※) 新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載



(※2) 収支状況に大きく影響を及ぼした要因があった場合、その内容

4 管理運営の評価

(1) 提供サービスや利便性の向上のための取組み

指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○南レク公園を活用した各種イベントの開催及び事業展開、令和6年度は、南レクアウトキャンプ場で、「南レク・親子で防災キャンプ」を愛媛県南予地方局と共催で初開催し、防災学習や防災体験など様々なイベントを交えながら、防災対策の必要性や防災意識の向上に努めるとともに、パレルサウナの利用促進も図るなど施設の有効活用を図った。またインバウンド旅行者に向けた茶道や書道などの和文化体験の提供を継続し、地元の愛好家や有志・団体主催の外部イベント受入等を行い公園全体の利用促進や活性化、利用者へのサービス向上に努めることができたと考えている。		昨年度から引き続き、自主イベントの企画実施や外部団体等のイベント受入を誘致するなど南レク公園の活性化に寄与するよう努めた。 また、南楽園へのインバウンド団体旅行者の利用が多方面に広がっており、台湾・香港を中心に今後も増加が見込められると考える。	評 価
			A

(2) 施設の適正な維持管理のための取組み

指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○事業計画書に基づいた保守点検や植栽維持管理、日常・月次点検、法定検査業務に加え、施設の不具合については県担当課への修繕要望、施設専属の管理員や清掃員との委託契約締結による清掃管理業務の実施等適正に履行できたと考えている。		各公園施設ごとで日常点検を適切に実施し、異常を発見した場合は、専門業者に修繕等を依頼するなど、利用者等に支障がないよう適切な管理に努めた。 今年度も、事業計画書に基づいた点検を確実に行っていただきたい。	評 価
			A

(3) 利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

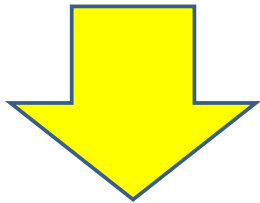
指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○ホームページからの問い合わせや要望等に対する受入や回答、また従来から継続している主要施設でのアンケート用紙設置を行い、意見や要望を反映できる体制を整えることができたと考えている。		ホームページによる問い合わせや主要施設にアンケート用紙を設置する等、利用者の意見・要望を反映させる体制を整えている。 苦情対応も適切に行っているため、引き続き対応していただきたい。	評 価
			A

(4) 施設関連情報の発信のための取組み

指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○イベントチラシの配布やポスターの掲示、自社のホームページを活用した南レク公園のPRを継続するとともに、X(旧Twitter)・LINE・Facebook・Instagram・等SNSを活用したタイムリーなイベント情報の発信、またリニューアルに向けて注目を浴びている紫電改展示館のSNSアカウントの開設やTikTokを新設するなど情報を随時更新しながら公園の魅力度向上に努めた。		各種SNSは昨年度に引き続き運営しており、積極的な広報を行った結果、合計閲覧数は昨年度から約4万回増加している。 また、新たにTikTokを開設しているため、若年層への情報発信に期待したい。 R7.2には紫電改展示館公式Xを開設し、5千人を超えるフォロワーを集めており、SNSを一層効果的に活用した誘客促進をお願いしたい。	評 価
			A

【評価基準】

- S・・・仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの
- A・・・仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの
- B・・・仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの
- C・・・仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



(5) 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

県施設所管課の総括	
南予レクリエーション都市公園について、2度の地震(4/17豊後水道・8/8日向灘)がある中で、公園利用者の安全を最優先に注意喚起や避難経路の案内など安全に配慮しつつ運営を行ったことは評価できる。 令和6年度は、南海トラフ地震臨時情報の巨大地震注意の発表や、土日・祝日の天候不良や夏場(7・8月)の猛暑の影響による屋外施設の利用が減少したため、利用者数・利用料金収入ともに減少しているものの、一方では紫電改展示館の売店収入や南楽園の観月祭等の自主イベントの充実など、指定管理者としての工夫を凝らした取組みにより、収入を確保している点は評価できる。 施設の管理運営に関しては、事業計画に沿った保守点検・植栽維持管理などを行っており、適切な管理運営ができていると考える。 注目度の高まる紫電改展示館のリニューアル事業に合わせて、県と緊密に連携しながら、国内に現存する唯一の実機である紫電改について、地域の貴重な資源として位置づけ、SNS等を活用して積極的な情報発信を行い、誘客促進や愛南地域の賑わい創出に努めていただきたい。 今後は、利用者のニーズに合わせた新規イベントを実施や、インバウンド誘客の促進、SNSの継続的な有効活用等を通じて更なる満足度・集客率の向上に努めていただきたい。	